

[主催] 同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)
[共催] 同志社大学 神学部・神学研究科

CISMOR 公開講演会

オマーンのイスラーム法学者たちの試み －穏健主義の展開に対して

The Effort of Muslim Scholars in Oman in the Deployment of Moderation

【講師】

カーハラン・アルハリスィー

(オマーン 大ムフティー補佐、基金・宗教局担当大臣)

【コメンテーター】

四戸潤弥

(同志社大学神学部・神学研究科教授)

【司会】

サミール・ヌーフ

(同志社大学高等研究教育機構教授、CISMOR 幹事)

2012年11月12日(月) 17:00-19:00

同志社大学 今出川キャンパス

寧静館5階 会議室

- 入場無料・事前申込不要・逐次通訳あり
- お問い合わせ先
同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)
TEL: 075-251-3972
E-mail: info@cismor.jp HP: <http://www.cismor.jp/>

【プログラム】

- | | | |
|--------------|-------------------|---------------|
| 1) 開会挨拶／講師紹介 | 17 : 00 – 17 : 05 | 小原 克博 |
| 2) 講 演 | 17 : 05 – 18 : 25 | カーハラン・アルハルスィー |
| 3) コメント | 18 : 25 – 18 : 35 | 四戸潤弥 |
| 4) 質疑応答 | 18 : 35 – 19 : 00 | |

講師：カーハラン・アルハルスィー（オマーン 大ムフティー補佐、基金・宗教局担当大臣）

挨拶：小原 克博（同志社大学神学部・神学研究科教授／CISMOR センター長）

コメンテーター：四戸潤弥（同志社大学神学部・神学研究科教授）

司会：サミール・ヌーフ（同志社大学高等研究教育機構教授、CISMOR 幹事）

【講師紹介】

Kahlan Al-Kharusi（カーハラン・アルハルスィー）

オマーン大ムフティー（国家法判断者）補佐、基金・宗教局担当大臣

1972 年生まれ。

学位：博士（英オックスフォード大学、イスラーム学）

職歴：

1996 年 – 2004 年： オマーン・ワクフ・宗教省国家法判断者官房研究員

2004 年 – 2010 年 3 月： オマーン・ワクフ・宗教省国家法判断者諮問委員

*ワクフ：ザカート（義務の布施）財業務

2004 年、2006 年、2009 年： オマーン・マッカ巡礼団長

2010 年 – 現在： オマーン国家法判断者補佐官

社会活動：

- ・1997 年 – 現在：オマーン、エジプト、ヨルダン、サウジアラビア、イラン、マレーシア、英国、米国での国際交流、及びワークショップ参加
- ・オマーン・テレビ宗教番組、ライブ中継参画
- ・国際イスラーム学者連合会員
- ・国際中庸主義フォーラム会員（ヨルダン）

- ・英国外相チェビニング・フェロー「イスラームとガバナンス」（2007年1月－4月）
- ・メルボルン大学オマーン・スルタン・アラビア語講座国際委員会委員(オーストラリア)
- ・オマーン・バイオ技術国家委員会元委員

学術活動(英語)

- ・『歴史の中のイバード派第1巻：イバード学派の誕生』編集委員、オマーン・ワクフ・宗教省、2007年
- ・『ステップ・バイ・ステップ巡礼ガイドブック』オマーン・トリビュン・プレス、マスカット、オマーン、2006年
- ・『イバード派クルアーン解釈概観；イスラームとアラビア語からの考察』、アラン・ジョーンズ寄附研究、E,J,W 記念基金、2004年
- ・アフマド・アルハリリー閣下『圧倒的眞実』編集長、オマーン・ワクフ・宗教省、マスカット、オマーン、2003年

学術活動（アラビア語）

- ・『ザカートの役割 —イスラーム世界の課題と、グローバルイズムの中でのその対応の中で-』第18回イスラーム高等諮問委員会会議準備原稿、カイロ、エジプト、2006年
- ・『イスラームの覚醒におけるイスラーム法学の重要性』イスラーム諸学派間調和機関、イラン、2006年
- ・『イスラームのイジティハードにおけるイスラーム法学者たちと、そしてクルアーンとイジテハードとの関係』pp15-35,アール・アルバイト基金第6回会議,1998年

<次回講演会>

イラン・イスラム共和体制とは？

2012年11月24日(土) 13:30-15:30

同志社大学今出川キャンパス 神学館3階礼拝堂

【講師】 駒野欽一(前駐イラン日本大使)

入場無料・事前申込不要